

市況情報

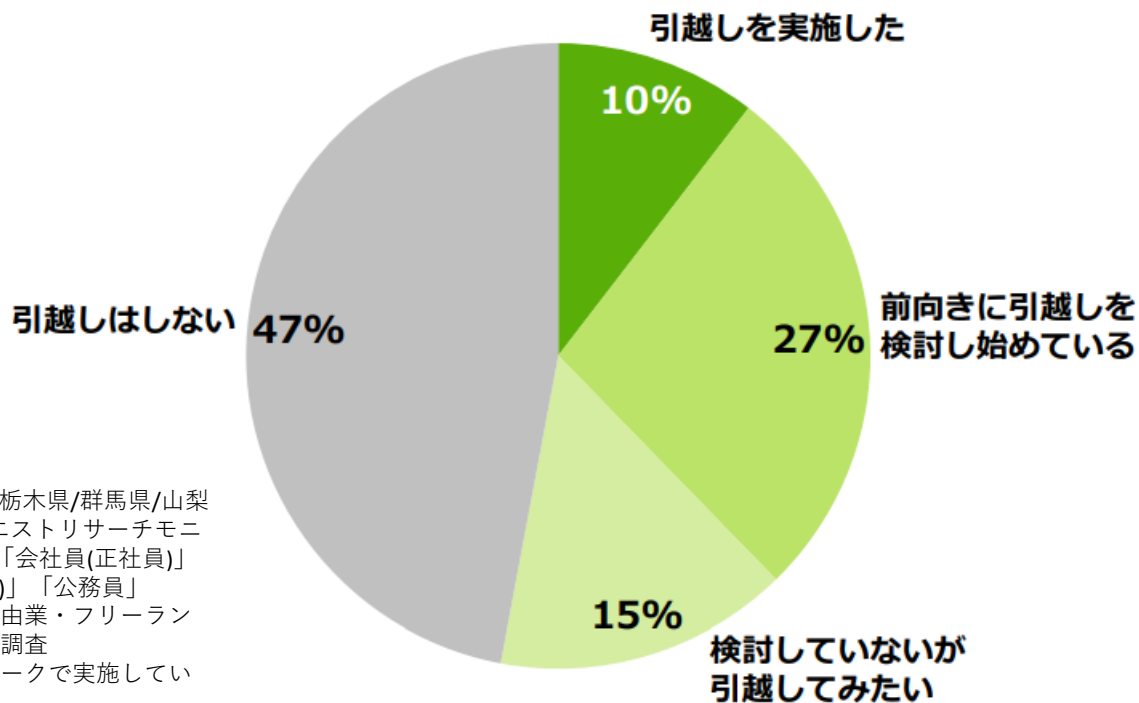
2022.June

テレワークきっかけでの引っ越しでは 住まい選びの基準にも変化あり

下記グラフはテレワークによる引っ越しの有無のアンケート結果です。コロナ禍前の調査ですが、「引っ越した」「引っ越しを検討中」で37%、「引っ越してみたい」を合わせると52%になります。テレワークをきっかけとした引っ越しでは、住まい選びの基準も変わってきています。コロナ禍でテレワークが増えている昨今、インターネット環境の整備や仕事ができるスペースの確保などが重視されるとともに、通勤場所に縛られないため、エリアの選択肢が広がっていると考えられます。

テレワークきっかけでの引越し実施有無

(有効回答数：815)



■調査概要

東京都/千葉県/埼玉県/神奈川県/茨城県/栃木県/群馬県/山梨県/長野県にお住まいの20歳～64歳のクエスチョナリーモニターの男女で、「会社員(経営者・役員)」「会社員(正社員)」「会社員(契約社員)」「会社員(派遣社員)」「公務員」「パート・アルバイト」「自営業」「自由業・フリーランス」のいずれかの方へのインターネット調査

■テレワーク割合：全仕事量の内テレワークで実施している割合が10%以上

■本調査：2019年11月23日～11月25日

出典：株式会社リクルート住まいカンパニー

この件に関するお問い合わせは

株式会社市萬 不動産経営アカデミー事務局

☎03-5491-5213

※これまでの市況情報は市萬ホームページ、<https://ichiman.co.jp>でご確認ください。「金融機関・弁護士・税理士の皆様へ」に掲載しています。